

令和3年5月7日

学校法人和風会  
多摩リハビリテーション学院専門学校  
学院長 石田 信彦 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 池田 隆純

## 学校関係者評価委員会報告

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告いたします。

### 記

#### 1. 学校関係者評価委員

委員長：池田隆純（医療法人社団和風会リハビリテーション部長）

委員：奥山浩太（所沢中央病院 技士長）

加藤哲禎（老人保健施設メディケア梅の園 事務長）

鈴木康雄（多摩リハビリテーション病院 技士長）

高木博之（所沢リハビリテーション病院 事務長）

人見太一（文京学院大学保健医療技術学部）

松井 充（所沢リハビリテーション病院 技士長）

#### 2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会：令和3年 3月23日（火）〔感染症対策のためメールにて自己評価報告と依頼〕

第2回委員会：令和3年 4月10日（土）〔メールにて各委員からの評価結果集約〕

#### 3. 学校関係者評価 結果報告

別紙のとおり

以上

## 令和2年度 学校関係者評価 結果

### 重点目標

1. 入学者の充足、2. 退学者の減少、3. 就職内定率の向上、魅力ある校友会研修会の実施

### 評価基準1：教育理念・目標

- 適切である

#### コメント

貴学で挙げられている教育理念・目標は、地域医療に貢献できる人材を育成していくために必要不可欠なものである。医療法人と同グループ経営のため、医療福祉の精神が色濃く反映されている。

コロナ感染対策の中、ホームページなど限定された環境の中ではある。学生、保護者、地域にもオンラインやオンデマンドでの配信ができるとよい。今後は、地域医療への貢献におけるアウトカム指標を明確にし、働きかけた結果を公表すると良い。

### 評価基準2：学校運営

- 概ね適切である

#### コメント

法令遵守され、適切に運営されている。新型コロナウイルス感染症の影響で、対面授業がメインの教育現場では大変な苦労があったと思われるが、ITを取り入れる等の工夫が見られたのは素晴らしい。今後は、新たな業務効率化システムの導入による成果を明らかにしてほしい。

### 評価基準3：教育活動

- 概ね適切である

#### コメント

個々の学生に合わせた教育・指導が教職員一体となってできている。また、授業評価アンケートを定期的に行っており、その都度教員側の教育・指導方法の修正が行われている。教育課程編成委員会や臨床現場のリハビリ職員の意見を取り入れて授業内容の変更を積極的に行われている。非常勤講師が担当する講義が充実するよう、専任講師と非常勤講師の情報交換を行ってほしい。

国からは臨床実習で新たにクリニカル・クラークシップでの対応が求められており、それに伴う指導方針を分かりやすく公表できると良い。実習施設への対応や、コロナ禍での体制に工夫を要することが多かったと思うが、その中でもしっかり活動できている。

### 評価基準4：学生指導等

- 適切である

#### コメント

学生のレベルに合わせた対応がなされている。教員側のオフィスアワー等を明確に公表する、オンラインで個別相談を行う等、より学生が相談しやすい環境を設定すると良い。

感染対策についての意識づけは十分行われている。オンライン授業が長期化したときの学生のフォロー体制をしっかりと整備してほしい。

#### 評価基準 5：特別活動等

- 概ね適切である

#### コメント

元々、先輩後輩の交流についてはクラブ活動や文化祭を通じて盛んにおこなわれている。新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮すると、活動自粛は妥当である。他学年との症例報告会・実技練習など可能な範囲で実施している。交流の機会をオンラインで実施することも検討して頂きたい。

#### 評価基準 6：学修成果

- 一部改善すれば適切である

#### コメント

国家試験の合格率は全国平均を上回っていることは評価できる。国家試験不合格者のフォローをどのように対応しているのか明らかにして頂きたい。

退学率が減少傾向にあることは、学院の努力の賜物である。更なる予防策を講じてほしい。

卒業生の社会的な活躍を把握し、教育活動改善に活用することで、より入学者数に反映すると思われる。

#### 評価基準 7：学生支援

- 概ね適切である

#### コメント

入試制度や奨学金等、色々な場面で工夫が感じられる。学費への援助が適切になされている。学生に対する経済的支援は今後とも必要になってくると思われる。補助金・助成金制度を積極的に取り入れていくと良い。今後、コロナ禍の影響で、学業継続が困難となるケースが考えられる。支援策の検討を望む。

#### 評価基準 8：教育環境

- 適切である

コメント

前年度から大きく環境整備がなされ、教育環境整備、大規模修繕等、環境整備に前向きである。積極的に学生のアメニティー向上のため、設備、備品を整えている。BCP（災害などの緊急事態における事業継続計画）等の作成ができれば良い。

また、コロナ感染対策もなされている。wi-fi 環境を整えることで、ネットを通じて学生と教員とのやりとりが行いやすくなり、ソフト面での更なる改善が期待される。

評価基準 9：学生募集

- 一部改善すれば適切である

コメント

学納金減免制度など学費の援助が充実しており、幅広く門戸を開いている。PT・OT は募集定員を満たしている。創意工夫は感じられるが、社会人・大卒者の募集については、新型コロナウイルスの影響をうけた部分もある。高校や大学ともオンラインの活用ができればよい。

評価基準 10：法令等の遵守

- 適切である

コメント

個人情報適切な管理や法令順守、方針の公開など適切に行えている。

評価基準 11：社会貢献・地域貢献

- 適切である

コメント

近隣の自治体主催の講座の受託やその他の各種団体との協力体制等もしっかり行えている。今後も継続して地域貢献してほしい。

新型コロナウイルス感染症の影響で外部協力が難しいこともあったが、必要に応じて対応している。学生のボランティア活動は、コロナ渦でもできることを学生と模索するとよい。